

(2) 北股簡易水道

衣川区の北股浄水場では緩速ろ過装置が沈下してろ過能力が低下したために、簡易急速ろ過装置（リース）を設置し給水した。

また、緊急措置として、胆沢区から緊急時連絡管により給水。その後、ヤマナシ沢水源から下流部で破損していた導水管を復旧するとともに、濁度対策として、北股浄水場に仮設急速ろ過装置（処理能力470m³/日）を設置し給水した（**図4.8**参照）。

(3) 衣川簡易水道

衣川区の衣川簡易水道の鳴沢水源からの導水管が破損したため、水源より約1,350mの仮設配管を設置するとともに、高濁度対策として、噌味配水池に急速ろ過装置（処理能力600m³/日）を設置して給水した（**図4.9**参照）。

また、衣川区の衣川簡易水道の上立沢水源は、余震による取水口への土砂崩壊があり、水量が減少、鳴沢水系から一部補給しながら給水した。

表5.1に奥州市の水道施設応急対策状況を示す。

表5.1 奥州市の水道施設応急対策状況

No	事業名	施設名等	被害箇所	応急対策	備考
1	北股簡易水道	北股浄水場	ろ過施設	仮設急速ろ過装置設置（タンク径φ1600、処理能力470m ³ /日）をリースにて設置	写真5.4
2	衣川簡易水道	噌味配水池	鳴沢水源	水源が高濁度のため仮設急速ろ過装置を設置（処理能力300m ³ /日×2基）	写真5.5
3	石湊簡易水道	谷子沢水源	水源地の濁度上昇	若柳配水との連絡管を使用し応急復旧（断水戸数200戸、6月14日に復旧）	



写真 5.4 北股簡易水道ろ過機設置状況



写真 5.5 衣川簡易水道ろ過機設置状況